

教育福祉委員会審査日程表

日 時 令和 8 年 6 月 1 7 日（水）

午前 9 時 5 0 分開議

場 所 第 3 ・ 4 委員会室

- 第 1 議案第 3 6 号 令和 8 年度流山市介護保険特別会計補正予算
（第 1 号）
- 第 2 議案第 3 7 号 流山市幼児教育支援センター及び附属幼稚園の
設置等に関する条例の一部を改正する条例の制
定について
- 第 3 所管事務の継続調査について

令和8年度流山市介護保険特別会計補正予算(第1号)概要資料

令和8年第2回定例会
教育福祉委員会
議案第36号 資料1

歳 入			歳 出		
款	補正額 (千円)	説 明	款	補正額 (千円)	説 明
6 繰入金	9,072	◎事務費一般会計繰入金 9,072,000円	1 総務費	9,072	◎介護人材確保支援事業 9, 072, 000円
今回補正額計	9,072		今回補正額計	9,072	
補正前	15,975,958		補正前	15,975,958	
補正後	15,985,030		補正後	15,985,030	

流山市幼児教育支援センター及び附属幼稚園の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

1 改正の内容

条例の名称を含め、条例中にある「附属幼稚園」の記載を削り、第2条第4号は、「附属幼稚園の活動を利用した」を「幼児教育のための」に改め、流山市幼児教育支援センター附属幼稚園(以下「附属幼稚園」という。)を令和9年度末をもって廃園とするものです。

なお、今回の条例の一部改正により、関連する「流山市職員の給与に関する条例の一部改正」、「流山市学校事故調査委員会設置条例の一部改正」を行い、附属幼稚園に関連する記載を削ります。また、「流山市立幼稚園協議会条例」については、廃止いたします。

2 改正後の条例施行日

令和10年4月1日

3 改正の背景

- ① 共働き世帯の増加、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化等により、保育需要は高まる一方で、相対的に幼稚園需要は減少傾向となっており、附属幼稚園(定員60人)の園児在籍数を見ても、平成30年度に47人であったものが令和8年度は12人(4歳児4人、5歳児8人)となるなど、大幅に減少している。

附属幼稚園の在園児数の推移 <人>

年度	30	元	2	3	4	5	6	7	8
在籍数	47	40	39	38	28	22	19	18	12

- ② 幼児期に育てたい5つの資質・能力の領域の1つとして人間関係が掲げられている。幼稚園は、同年代の幼児が共に集団生活を営む場として位置づけられているほか、幼稚園における適切な学級の規模について、集団の形成過程を大切に、協同性の育ちを培うためには、1学級に、3歳児でも20人前後、4、5歳児は21人以上30人ほどの集団が適切だと考察されているが、園児の減少により、園児への教育の観点からも懸念が生じている。

- ③ 附属幼稚園の廃園後の幼児の受け入れについては、心身障害児、医療的ケア児、通所受給者証の交付を受けている幼児等を受け入れている私立幼稚園等に対し、流山市私立幼稚園等要配慮児童受入支援補助金により、支援する制度を令和7年度から開始しているほか、就園時等における相談体制の充実を図ること等により、特別な配慮を必要とするこどもへの支援体制は整ったものと考えられる。

4 改正後の制度の運用

卒園を待たずして廃園を迎える園児が生じないように、以下のスケジュールで園児の募集を行う。

- ・令和7年秋:令和8年度の園児(4歳児及び5歳児)※募集済み
 - ・令和8年秋:令和9年度の園児(5歳児のみ)募集
- 令和10年3月31日をもって廃園

5 幼児教育支援センターについて

架け橋期教育の分野において、今後も本市全体の幼児教育の質の向上を図るための中枢を担う組織であり、ワンストップで繋がる幼児期の相談窓口や家庭教育支援、幼児教育希望研修の実施、専門性のある職員の配置等により、それぞれのこどもにとって、よりよい幼児教育・保育・療育の方向性を見出すための組織であることから、継続するものです。